

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.6



【発行】

川崎市老人福祉施設事業協会

〒213-0001

川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき内

TEL : 044-812-1231 / FAX : 044-812-2077

http://www.kawasaki-roushikyo.org/

年頭の御挨拶

老人福祉施設事業協会
会長 深瀬 亮一

新年あけましておめでとうございます。

本年も会員の皆様方には、晴れやかな気持ちで新年を迎えることができたことを心から喜び申し上げます。

2万人近い方が犠牲になったあの痛ましい東日本大震災から2年を迎えようとしています。被災にあわれた皆様は、まだ傷の癒えきらず、被災にあわれた皆様は、少しでも早く希望に満ちた新しい生活ができますよう心から祈念いたします。

昨年は、私たちの仕事に直接影響を及ぼす介護報酬が改定されましたが、昨今の日本経済を反映したマイナス改定と受けとめられる大変に厳しい内容でありました。そのような介護環境ではありませんが、老人福祉施設事業協会は、川崎市における高齢者福

祉の最前線で市民の信頼にこたえていかなければいけないと、新年にあたり決意を述べています。

川崎市の長寿いきいきプランでは、24年度から26年度の3カ年に12所、一〇九一床の施設整備を推進するとうたわれています。高齢者が安心して、元気にいきいきと暮らせる社会づくりの実現に大きく期待していきたいと思っております。

現在、当協会は23法人53施設ですが今後さらに仲間が増えてまいります。事業協会の果たす役割は一層大きくなると思います。

会員の皆様には今後ともよりいっそうの御支援をお願い申し上げます。今年が皆様にとっても、事業協会にとっても輝かしい一年のスタートになることを祈っています。

本年も、どうぞ、よろしくお祈り申し上げます。



健康福祉局長 木村 実

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年中は本市の市政全般にわたり、温かい御支援・御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨今の社会情勢を見ますと、急速に進行する少子高齢化は、年齢構成のバランスを崩し、人口減少を招き、社会福祉にとって深刻な影響を与えております。本市におきましては、若い世代の流入による人口増が続いており、全国でも比較的若い都市といえますが、確実に進行する少子高齢化に対する取り組みが大きな課題となっていることは、決して例外ではありません。

また、近い将来、直下型地震が南関東地方を襲うのではと危惧されております。一昨年東日本を襲った地震と津波そして原発事故の影響は多くの方々

未曾有の悲しみをもたらしましたが、全国規模の支援の輪の広がりは、人と人とのつながり、家族や地域社会での絆こそが何よりも大切であることを実感させられる契機となりました。

本市では、平成24年度から平成26年度までの3年間の計画期間とする「第5期・かわさきいきいき長寿プラン」に基づいた様々な事業の実現に向けて取り組んでいるところですが、社会福祉法人をはじめ、地域の皆様や施設に從事されている方々の御協力が不可欠であると強く実感しております。

今後とも一層の御支援を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様にとりまして、本年が明るく希望に満ちた年になるようお願いしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



福祉施設のご紹介

社会福祉法人 中川徳生会
特別養護老人ホーム こだなか

〒211-0053
川崎市中原区上小田中1-28-55
TEL:044-754-7611 / FAX:044-754-7613

現在、「特別養護老人ホーム」「短期入所生活支援」「デイサービス事業」「居宅介護支援事業」「地域包括支援センター」を行っています。

この度、平成23年4月1日より、中川徳生会が川崎市より指定管理者の受託をすることとなりました。

こだなかは、平成6年4月1日に開設され川崎市が建設した特別養護老人ホームです。



【施設外観】



【デイサービス】

デイサービスでは、利用者さまと一緒に季節感のあるイベントやレクリエーションを通じて、楽しみのあるデイサービスを行っています。ゲームや体操など、楽しみながら身体を動かせるレクリエーションを展開しています。みなさま笑顔で楽しんでレクリエーションに参加されています。

特別養護老人ホームでは、毎月音楽療法の先生とボランティアの方にお越しいただき季節の歌や昔の歌や演奏を楽しんでいただいています。また楽器を使った体感プログラムなど行い毎回好評をいただいております。

私たちは、みなさまの幸せを願い介護サービスを提供することで、幸せを感じていただきたいと思っています。そのために、向上心と創意工夫により利用者さまの生活を第一に考えた支援を目指します。



【クリスマス会】



【夏祭り】

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 徳心会 特別養護老人ホーム 菅の里

〒214-0008

川崎市多摩区菅北浦3-10-20

TEL:044-946-3400 / FAX:044-946-3455

基本理念としてご利用者一人ひとりの人間性を尊重し、共に学び生きる姿勢を大切にした「和」と「くらしの場」となるような明るく温もりのある施設を目指しております。

社会福祉法人徳心会は平成8年に特別養護老人ホーム菅の里を開設し、「介護老人福祉施設」「短期入所生活介護」「通所介護」「居宅介護支援」「地域包括支援センター」の5事業を運営しております。



【施設外観】



【お花見】

菅の里では地域の皆様やご家族の協力を得て、春の「お花見」、夏の「納涼祭」、秋の「敬老会」、冬の「クリスマス会」等々、季節に合った行事を皆さんに楽しんで頂いてあります。また、春と秋の「バスハイク」は神代植物公園で赤や黄の色とりどりのバラをご家族と楽しんだり、井の頭自然文化園で有名なゾウの花子や可愛いハムスターと触れ合うひとときを過ごすことで心癒されご利用者に大変好評です。

JR南武線と京王線が交わる稲田堤駅から徒歩7分の、川崎北部の緑の多い住宅街に位置し、静かな環境の中で特別養護老人ホーム入所80名、短期入所10名、デイサービスは月々土曜日の35名定員で営業しております。

これからもご利用者ひとりひとりの思いを大切にして、心豊かで健やかな毎日を過ごせるよう、職員一同務めて参ります。

また、近くの保育園や小学校の子供達の定期的な訪問もあり、ご利用者も明るい子供達の歌声や踊る姿を見たり、共に手遊びしたりと楽しいひとときを過ごしています。



【納涼祭】



【小学生のボランティア】

福祉施設のご紹介

**社会福祉法人 一廣会
特別養護老人ホーム 金井原苑**

〒215-0023
川崎市麻生区片平1430
TEL:044-986-1560 / FAX:044-986-4654

「施設」を「家庭」に近づけるために、入居者、職員とも8グループに分かれます。毎月パートさんも参加するグループ会議で統一ケアを話し合います。排泄、入浴は個別ケア、家族会はグループ開催です。音楽療法、アニマルセラピー、看取りケア、口腔ケア、認知症ケアに取り組んでいます。

当苑のグループケアをご覧いただく、従来の特別養護老人ホームのイメージが変わります。

かないばら苑が特養老人ホームのイメージを変える



【施設外観】



「大人のサロン」のデイサービス

デイサービスは大人の社会的交流の場として、多彩な複数のプログラムを提供し、四季折々の季節の変化を楽しみながら、その楽しさを引き出すお手伝いをします。認知症デイではきめ細かいケアを提供しています。

人気のデイサービスと
小規模の認知症ケア専門
のデイサービス3箇所

各グループが開放的な廊下で繋がっていてフロアに職員の姿がいつもあり、助け合いや学び合いがあります。また、OJT研修が充実しており、働きながら学ぶことができます。

麻生区で踏ん張る

かないばら苑には年間延べ千人以上のボランティアが来苑され、地域交流が盛んです。たくさんさんのボランティアさんの協力のもと年2回の祭りを盛大に開催しております。また、百合丘駅より徒歩4分の場所に区内に2つ目の地域包括支援センターを受託するなど、地域福祉づくりに積極的に取り組んでいます。



ケア技術向上のために
熱心に研修



老人ホームのグループケア

日々変化する地域のニーズに
応えるため、専門職として謙虚
に学びながら歩みます。

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 馬島福祉会 奏（かなで）デイサービスセンター

〒212-0002

川崎市幸区小向仲野町1-24

TEL:044-540-6508 / FAX:044-555-8811

社会福祉法人馬島福祉会
奏デイサービスセンターは川
崎市幸区に平成19年に開所致
しました。馬島福祉会では唯
一の幸区の施設です。

奏デイサービスセンターで
は『ここに来ればみんなに会
える。明るく楽しく元気よ
く、地域に貢献するデイサー
ビス』をモットーに活動して
います。



【施設外観】



今年度より送迎範囲を広
げ、中原区、川崎市、鶴見
区、大田区を追加し、より多
くのご利用者の多様なニーズ
に応え、ご利用者だけではな
くご家族も一緒に明るく楽し
く生活できるように支援して
いきます。その為に、職員も
明るく楽しく働きやすい環境
とやりがいを持つことを大切
にしています。



現在、川崎市幸区小向仲野
町1-24 小規模多機能ホー
ム奏4階にて営業しており、
定員25名、営業日：月～金休
日：土、日、12月31～1月3
日の小規模型のデイサービス
です。

これからも地域の皆様に貢献
できるよう職員一同努力して参
ります。

ご利用者のなかで最も評判が
良いのはお風呂です。個浴で
行っていますが、浴槽に「ひの
き」を使用しています。ひのき
と言えばやはり香りです。『い
い香り』『なつかしい』『気持
ちいい』などと大変喜ばれてい
ます。いい気分になり、ご利用
者同士での会話や職員との会話
で長風呂になってしまわれる方
もたくさんいらっしゃいます。



【好評のお風呂】

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 馬島福祉会
縁（ゆかり）デイサービスセンター

〒210-0806
川崎市川崎区中島3-19-7
TEL:044-230-3152 / FAX:044-230-3153



みんなで作りました。大迫力でしょ！！

デイサービスの職員は、介護の知識や技術のほかに、人を楽しませる事も必要です。いつもレクリエーションや体操、創作活動に頭を悩ませています。ご利用者からの「楽しかった」の一言が何よりも励みになります。

縁デイサービスセンターは、平成19年6月に川崎区中島に開設されました。川崎市内の社会福祉法人として初めて開設した小規模多機能型居宅介護を併設しており、「いつまでも自宅でその人らしく暮らせる」という合言葉のもとに、地域の高齢者の生活をサポートしています。

檜のお風呂は大好評です！！



夏祭り、ワッショイワッショイ！
元気にお神輿担ぎます。



クリスマス会
職員は歌って踊ります！？

縁（ゆかり）という施設名は、人と人との縁（えん）を大切にという意味を込められてつけられました。これからも、地域との関わりを大切にしていきたいと思っています。

デイサービスは、川崎区内で60ヶ所以上あります。送迎や入浴の基本的なサービスは当然ですが、それ以外でも差別化を図り、ご利用者から選ばれたサービスを展開していきます。

また、ご利用者同士に馴染みの関係を作ってもらうために、小グループで活動しています。デイサービスで友達になり、デイ利用日以外でも交流しているご利用者も多くいらっしゃいます。



～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.6

相談員研究部会

山梨県立大学准教授
伊藤 健次 先生

平成24年10月12日、川崎市大山街道ふるさと館にて当協会研修委員会に属する相談員研究部会の研修会が開催された。

内容は「相談員に必要な家族の視点」をテーマに掲げ、山梨県立大学准教授の伊藤健次先生にご講演頂いた。伊藤先生は過去に老人ホームで相談員としての経験があり、現場をよく知る大学教授の一人である。

研修は板挟みになりやすいポジジョン相談員が対応の難しい家族にどう対応するのかを投げかけ、クレームとは何か？そして援助者と家族との間に様々な差が生じやすい原因として相互理解の不足を挙げ、相手の身になって考えるため本人と家族の人生を深く知ることが必要であることなど盛り沢山であった。

その説明の過程で「自分への裏切り」をキーワードに実体験を踏まえたエピソードは相談員の本質を明らかにし、今後目指すべき方向を指し示すものであった。



【相談員研修部会風景】

講演終了後も個別質問の列ができ、参加者の研修への興味と期待を確信した。協会では各職種に分かれて有意義な研修が開催されており、質の高い介護を求める市内ホーム職員に寄与されている。

介護職員研究部会

職員の研究部会の一つである介護職員研究部会は、一時中断していましたが、平成20年度から再開に向けて準備をすすめています。

再開した介護職員研究部会によせて

介護職員の代表と研修担当施設及び顧問施設長により、平成20年11月に第一回の準備会を開催し、「介護現場の不安をなくし、共通の課題を少しでも改善できるように」を主眼に意見交換や話し合いをすることから、部会の再開にこぎつけたものです。

平成24年度は、一部役員の交代があり、4月25日、7月25日と2回の役員会を開催し、今年度の活動につき協議し、8月28日（火）14時から大山街道ふるさと館にて、今年度の総会と第1回の研修会が開かれました。第一部の総会は、事業報告と決算、計画と予算及び役員紹介があり、承認されました。

第二部の研修会は、「介護職員のストレスケア」をテーマとして、臨床心理士の福山渉先生に講義とグループワークを進行していただきました。講義はストレスのイメージから始まり、種類、反応、その対処法に及び、介護現場のストレスについては、変則勤務、身体的なもの、対人関

係、などにふれながら話されました。グループワークは、4つに分かれ、日頃のストレスの反応、対処法を共有することを目指しました。参加者からは多くの前向きな感想が寄せられました。

編集後記

新しい年を迎え、皆さん目標を掲げ、希望をもってそれぞれスタートされたことと思います。

昨年のロンドン五輪の日本選手の活躍は私たちに勇気と感動を与えてくれました。あの場面を「今度は日本で再現」とばかりに日本は二〇〇〇年の五輪開催都市に東京都が立候補して、招致活動が本格的に始まりました。今後の動向に注目しながら9月には朗報を待ちたいものです。

らくふく瓦版は、市内の老人福祉の様子を少しでも皆さんに伝えられるよう、工夫した誌面作りをしていきます。今年もよろしく願います。

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.6

平成24年度 かわさき老人ホーム作品展開催!



平成24年度「かわさき老人ホーム作品展」が川崎市老人福祉施設事業協会の主催、川崎市及び社会福祉法人川崎市社会福祉協議会の後援により10月2日(火)～4日(木)の3日間にわたり川崎市民プラザで開催されました。

この作品展は市内の特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・デイサービスの利用者が作成した作品や絵画・習字等を広く一般に公開することにより、高齢者の励みとなり、それが明日への活力・生きる喜びとなることを目的に毎年開催しております。

市内47施設、出品数にして約一〇〇〇点を超える作品がところ狭しと展示され、昨年より1会場増やし3会場での開催となりました。

初日のセレモニーでは、深瀬会長の挨拶に続き、協会役員・利用者代表によるテープカットが盛大に行われ開幕となりました。

今年も「富士山」や「秋の風景」をテーマにした作品の

多いのが目立ちました。身近にある物を利用した作品、壁一面の作品や立体型の作品、色鮮やかな作品、構想から完成まで相当な時間と手間のかかった作品など、大きなものから小さなものまで作成時の努力を思いだされる力作揃いでした。

来場者からは「すごいね。」「きれいだね。」「などの感激の声が聞かれました。

ご自身の作品の前に来ると「私のあった、あったよ。」と歓声をあげられ、作品をバックに記念写真を撮り「家に帰って嫁や孫に見せるんだ。」とニコニコしながら話す利用者など、共同作品から個人の作品まで、どれも丹精込めた作品ばかりでした。

また、同時に開催された「暮らしの川柳」では、昨年より多い85作品の応募があり、来場者の投票により最優秀賞1作、優秀賞16作が選ばれました。

最優秀作品は、鷲ヶ峯デイ佐藤宗興さんの「久しぶりとこでアンタ 誰だっけ」となりました。

来場者も千二百人を超え、3日間という短い期間での開催でしたが、終了するには惜しい作品ばかりで、大盛況のうちに閉幕となりました。

